

広報



# とうあおい

NO. **276**

発行：東栄町役場

昭和57年12月1日

編集：企画課



クリスマス  
メリー

57 / 12

### 人口と世帯

11月1日現在  
( )内は前年比

人口 6,170人(-74)  
男 2,963人(-25)  
女 3,207人(-49)  
世帯数 1,827戸(+17)

(住民基本台帳+外国人登録)

昭和五十七年も余すところあと三十日、いよいよ残り少なくなってきました。今年みなさんにとってどんな年だったでしょうか。年が押し詰まると何かと気ぜわしく、そわそわ落ち着かないものですが、じっくり一年の反省をするのも大切なこと。この反省が来年の飛躍の踏み台に!!もう新年はすぐそこ、気持ちを引き締めて、さあラスト・スパート!

(写真は昨年の本郷保育園クリスマス会から)

印刷：(豊橋)親和プリント株式会社



# 永年の功績と努力をたたえて

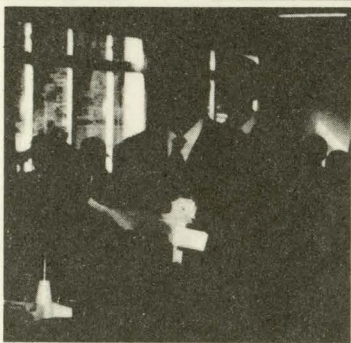
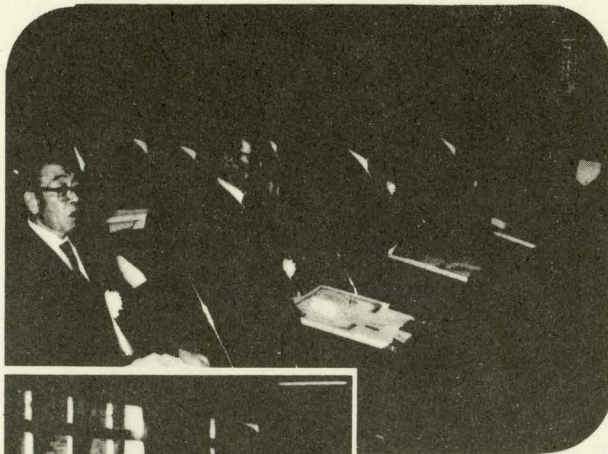
## 町政功労者表彰式を挙

☆ 見事に晴れわたった「文化の日」、産業会館三階ホール  
 ☆ では、昭和五十七年度町政功労者表彰式が行われました。  
 ☆ これは町の表彰条例にもとづき行われるもので、今回で  
 ☆ 八回目にあたります。

この日行われた町政功労者表彰式は、多年にわたって地方自治の発展、産業の振興、医療の拡充、福祉の向上などに貢献した方の功績をたたえるものです。

会場となった産業会館三階ホールには、町内外の関係者約五十名が集まり、午前十時三十分から式典が行われました。

今回の表彰者は四人、それぞれ各方面で活躍され、地域社会に貢献されてきた方々です。表彰式では原田町長が受賞者一人ひとりに表彰状と記念品を贈呈、多大な功績をたたえました。このあと受賞者を代表して尾林朝男氏が謝辞を



▲晴れて受賞の  
尾林・鈴木・柳沢  
山本の四氏(左から)  
代表して謝辞を  
のべる尾林氏

述べ、来賓祝辞へと続き、無事閉会となりました。

今回、町政功労者として表彰を受けた方は次の方々です。みなさんの多大な功績とこれまでのご努力に対して、敬意と称賛の拍手を心からお送りします。

### 〈功労表彰〉

「産業功労」  
尾崎朝男氏(七十一歳) 中設業  
二十余年の永きにわたり、東栄町農業協同組合の理事、監事をつとめ、町の産業振興に大きく貢献された。

「教育文化功労」  
鈴木良久氏(七十歳) 本郷  
町内の小学校校長を十年余りつとめたほか、東栄町教育委員を十年つとめ、町の教育文化の振興に大きく貢献された。

「産業功労」  
柳沢政男氏(七十八歳) 下川  
二十余年の永きにわたり、東栄町商工会の監事、理事、副会長、会長の要職を歴任し、町の産業振興に大きく貢献された。

### 〈一般表彰〉

「地方自治に貢献」  
山本伊久次氏(七十歳) 本郷  
十六年の永きにわたり、東栄町選挙管理委員として公正な選挙のために尽力し、地方自治の発展に貢献された。

## 伊藤さん入選に輝く

### 熱田神宮献詠祭で

毎年一回、名古屋の熱田神宮では献詠祭が催されていますが、この献詠祭は応募数も多く、またその審査が厳しいことでも有名で、全国的短歌ファンのいわばあこがれの的となっています。

このほど、下粟代にお住まいの伊藤静さんが、昭和五十七年度献詠祭一般の部で見事入選に輝きました。十一月三日の文化の日、熱田神宮神楽殿でその詠進歌が高らかに朗詠されました。

この献詠祭は小中の部・一般の部と幅広い範囲で行われるものですが、数多い応募作品の中から選ばれた伊藤さんの歌は、「大杯になみなみ注がれし祝ひ酒 寿の文字ゆるる酔い心地なる」


というもので、この献詠祭には町から四人目の入選者となったわけです。



喜びにひたる伊藤さん

伊藤さんは、町の短歌グループ「ふるさと会」の一員として活躍しており、その素朴な歌風には定評のあるところですが、これからもこの入選を励みとして、素晴らしい歌を、作り続けていただきたいと思えます。

ご入選、おめでとうございます。



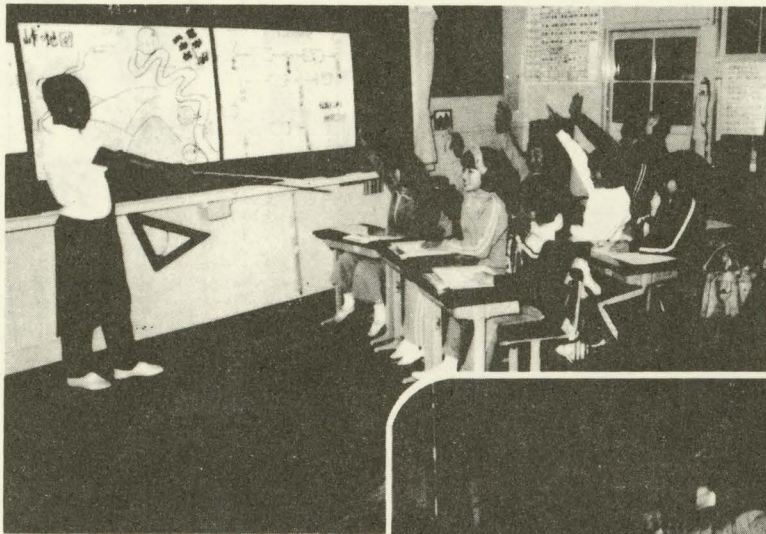
**狩猟期間**

11月15日から  
2月15日まで



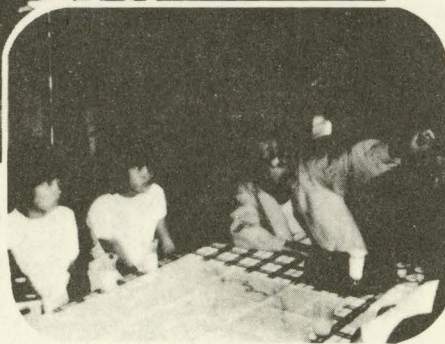
# 栗代小「博報賞」に輝く

## へき地教育への熱意・見事に開花



▲ふるさとの昔話をみんなで話し合い、作文にするユニークな授業風景

▶ 地区のお年寄から伝説を聞く児童たち



### 東三河では初の快挙!!

この「博報賞」は、財団法人博報児童教育振興会によるもので、「小学校国語教育」、「視覚障害教育」、「聴覚障害教育」、「言語障害教育」の四部門について優れた業績を挙げた団体や個人を顕彰するため、毎年一回各都道府県

の教育委員会の推せんを受けた数多くの候補を選考、賞が贈られるもので、今回で十三回目を数えます。この賞の審査員は、文部省の高官や、大学教授など八人で構

★ “東栄の栗代小学校が「博報賞」を受賞” というニュースが、町、郡、県の教育界を駆け巡りました。★ この「博報賞」は、明日を担う児童の教育に優れた功績のあった団体や個人に贈られるもので、これまで県下では数校が受賞、東三河では初めてという快挙。学校、学区では喜びに沸き返っています。★

成され、その審査の厳しさに定評のある権威のある賞として知られています。

栗代小学校は、この団体の部の「小学校国語教育部門」で受賞しましたが、この部門には全国からわずか九団体が受賞したにすぎません。

この賞の贈呈式は、十一月二十六日、東京丸の内日本工業倶楽部で行われ、内藤玲校長が出席、正賞と副賞が贈られました。

今回、この賞を栗代小学校が受賞した主な理由は、昭和五十二年度からずっと国語教育の研究に取り組み、その中で、書く力（文章表現力）を育てるために地域素材（花祭りや伝説など）を取り入れたユニークな指導が成果を上げたことによるものです。

この指導は同校の自慢のひとつで、地元には伝わる伝説や昔話、石仏や旧道などをテーマに、お年寄りから話を聞いてそれをまとめさせる、というもので、これにより子どもたちの文章力は著しく向上したそうです。また、この指導は、国語だけでなく、社会や理科などの勉強にも通じるところがあると他校からも注目されています。

児童数わずか二十六人、三クラスしかないという不利な条件下にありながら、少人数であることを生かしてきたその地味な努力と熱意が、今回の博報賞受賞という快挙につながったものと思われま

さにと学び、ふるさとに生きる”そのものであり、先生方の情熱が伝わってくるようです。

この博報賞受賞に対して、心からの拍手を送るとともに、へき地教育の振興に尽力していただけるよう、激励の拍手も合わせて送ります。「晴れの受賞、おめでとうございます」

### 内藤玲校長の話

名誉な賞をいただいて、大変嬉しく思っています。昭和五十五・五十六年度の二ヶ年は、文部省からの研究指定もあり、特に町当局を初め校区のみなさんには物心両面にわたりご配慮をいただき、このような結果が得られたものと深く感謝しています。研究の基盤ができましたので、子どもたちの確かな成長を願い、これからも継続して研究に取り組んでいきたいと思っています。

### 締め出そう交通三悪

- 飲酒運転
- 無免許運転
- スピードの出しすぎ

無事故で、安全な年の瀬を。



# 戦没者追悼式を挙行

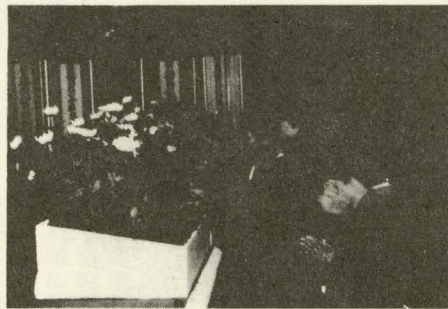
## しめやかに391柱をしのぶ 菊花で埋まった中央小講堂

町では四年ごとに戦没者追悼式を行っていますが、今年はその四年目にあたり、去る十月二十六日中央小学校講堂を会場にその式典が行われ、諸英霊三百九十一柱を招いてしめやかにとり行われました。

この戦没者追悼式は今回で七回目を数えます。

この日は見事に晴れわたり、天は澄みきった秋空が広がりました。祭場前に準備されたテント張りの受付には、朝早くから参列した遺族の方々と混みあいました。

祭場に整然と並べられた椅子も次々と参列する遺族の方々によって埋められ、開式時には空席がほとんど見受けられないほどの満員。



1本の菊に思いを込めて…献花

そして諸英霊三百九十一柱をまつる祭壇には、秋の花、今が真っ盛り菊花の大輪を中心に、見事な生花が色鮮やかに配列され、胸にせまるほどの荘厳なふん囲気が場内いっぱいにかもし出されています。

町内外からの多数の来賓と、戦没者の遺族で埋まり、午前十時から式典を開始、一分間の黙とうに続いて祭主(町長)の祭辞、来賓による追悼の辞が行われ、献花へと続きました。この献花では、

遺族一人ひとりが一本の菊にそれぞれの思いを込め、祭壇に供える姿が印象的でした。  
この献花のあと遺族代表から謝辞があり、午前十一時過ぎ、滞りなく閉式となりました。

# 冬休み 非行防止の点検を

一年の学校生活のうちには、夏、春と三回の長期休暇がありますが、非行防止の点からみると、要注意の時期でもあります。

これから迎える冬休み、この休みは短期間に色々な行事が集中しているのが特徴です。クリスマス、大みそか、正月と続き、特にこの地域には花祭りという大行事がこの時期に集中します。  
多くの行事があり、多くの人が集まる冬休み、正しく過ごせば実



に有意義な休みになるわけですが、反面、色々な誘惑も多く、非行の芽が顔を出す機会が多い休みとも言えます。

こうした非行の芽を摘みとるのが、親、兄弟といった家庭環境であり、地域、学校といった社会環境です。休みはとかく解放感にひたり、自己の感情のおもむくままに流されることが多いものですが、こんな時こそ、周囲の暖かい目が必要なのです。  
子どもたちは素晴らしいエネルギーの塊りです。しかし、ちょっとしたきっかけからエネルギーの放出先を誤ってしまうのです。ふだんの生活態度にご注意、服装や言葉使いに変化が表れたら黄信号です。機会をのがさず、早いうちに非行の芽を摘みとりましょう。

# 火の用心と換気の用心 暖房による配欠事故を無くそう

燃えているロウソクにコップをかぶせると…小学生の時に習った理科の実験を思い出してみよう。

ロウソクの火が消えてしまうことはもうお分りですね。物が燃えるためには、空気の中に含まれる酸素が必要

なことは言うまでもありません。それでは、物が燃えるにはどのくらいの空気が必要なのでしょう

ようか。例えば都市ガスを燃やすには千キロカロリ

あたり約〇・九立方メートルの空気が必要とされています。つまり、家庭で使われているガスコンロを一時間

続けて使用する場合は、ドラム缶十二本分小型ガス瞬間湯沸器だと

ドラム缶三十六本分の空気が必要ということになります。

閉め切った部屋で、寒いからと

ストーブやコンロをつけっぱなしにしていると、燃焼に必要な空気の量が不足して不完全燃焼を起こします。頭痛やめまいを感じたら、酸素欠乏症か一酸化炭素中毒。場合によっては、命までも失いかねません。火を使うときは、火の用心はもちろんのこと、換気の用心も忘れなく。

また、物が燃えるときと同じように、わたしたち自身も空気中の酸素を吸収し、二酸化炭素とともに、わずかの一酸化炭素を出しながら生きています。火を使わない部屋でも、換気には十分気を配ることが大切です。

なお、建築基準法では、建築物の換気設備について規定と技術規

準を設けています。家を新築、増改築する時は、建築基準法を確認し、安全で快適な住まいづくりを

心掛けましょう。





# とうえい

## 愛知県町村会 アメリカ・カナダ・メキシコ 視察団報告書(一)



町長  
原田 研作

愛知県町村会主催のアメリカ・カナダ・メキシコ視察団(团长音羽町長堀内重昭氏外二十名)に参加、八月十九日から九月一日までの十四日間の研修の機を与えて下さった町民の皆様、議会始め多くの関係者各位、ならびに不在中の役場関係の役職員各位のご協力、御芳志に対しまして心から御礼を申し上げます。

この視察団は行政視察の外、愛知県として参加しているカルフォルニア州都サクラメントにおける農業祭開会式に公約出席すること、及び名古屋市との姉妹提携都市メキシコ市の公式訪問の予定が組まれておりました。それはともかく、私にとりましては町長就任後初の海外研修であり、同行の町村長さん方と相互認識を深め且つ、知反を得るよい機会であると思ひ、これを第一目的として喜んで参加いたしました。

年アメリカ合衆国・カナダの大陸を林業・住宅産業視察のため、東部のアラバマ山脈地方、西部太平洋側のカスケイド及びシエラネバダ山脈の一部の山中をバス旅行したことがあり、ハワイ州・アラスカ州を除けば今回は二度目の本土訪問で、その第一印象は治安に対する不安感であった。事実、最近では白昼堂々青少年までピストル強殺、恐喝、傷害、性犯罪、麻薬ヒッタクリ等々の凶悪事件が日常化し学園内にも及び、大部分の高校にも保安用員の警察官を配置しているのが実情のようであります。事実、我々は日程に従って移動する度に何時も繰り返し現地の案内者に注意されたのは、一人歩きの外出や手荷物、懐中物、貴重品の対する厳重な管理、警戒を要求された。思えば、これも現在のアメリカ経済の高金利・デフレ政策による不況・失業・人種間の違和感等々、アメリカ社会の複雑さ

も犯罪誘発の一因となっており、極めて深刻で活気に乏しい感じが見えるようでありました。

このことは、前回の時と比べてみるとアメリカ社会の変化が私なりに判るような気が致しました。

当時、大都會での一人歩きも夜間外出も自由にやっていたが、結構楽しくそれほど心配もトラブルもなかった。また、当時ニクソン政権下でベトナム戦争のドロ沼時代、むせ返るようなインフレの熱気を膚で感じたし、また、戦後の世界経済再建の基本的理論を形成してき

た「近代経済学」は果してパワーポリティクス(国際緊張の動乱の中で役立ち得るのか、そして何処へ行くのか)等と柄にもないことを感じ、自由貿易経済体制が維持できるのかなどと当時不安に思っていたことが、昨今のこのように感じました。

次に、私が経験した旅行そのものを厳しく表現するならば、町長の団体の研修である以上一般観光旅行ではないし、我々も忙しい中を貴重な経費をかけて許される視察であるので、旅行代理店も商売の面のみでなく効果的なスケジュールを提案すべきだと思う。

アメリカ社会の偉大な現実――すなわち、一七七六年七月四日、東部十三州の独立後、英本国との条約によりミシシッピ川以東を固めた後、(一七八三年)、ナポレオンから同川以西のロッキーマン脈東側を千五百万ドルで買取(一八〇三年)、フロリダとルイジア

ナの一部をスペインから割譲(一八一九年)、テキサス併合(一八四五年)、ロッキーマン脈西部オレゴン地方四準州の設定(一八四六年)、同山脈西側のカルフォルニアほか四州をメキシコから購入(一八五三年)、さらにアラスカを帝政ロシアから二百万ドルで買取(一八六七年)、ハワイ合併(一八九八年)と歴史は示しており、南北戦争(一八六一―一八六五年)により一時南北に分裂しその後回復したという危機もあった――を想う時、よくぞここまで東西の統合もなし得たものだと思う。この事実は今日の意味は絶大であり、少なくとも、西部開拓の具体的史実の

一頁でも例えば実際に見聞できれば、思想としてのアメリカ文化への認識もより正しく強固になるのではないか。

さて、一般的感想はこの程度にして、地方行政事情調査でアメリカと不即不離の関係にあるカナダのホワイト・ロック市役所を八月二十日訪問した。ここでホワイト

ロック市地方商工会議所発行の同市及びその地方の実情に関する小冊子を参考資料に頂いた。これは日本の市町村当局発行の要覧に替るものであるが、市は発行していないとのことである。無駄も多く大して参考にならないかも知れませんが、次回より数回に分けてご紹介

します。

とは申せ、すでに語学力もめつきり衰え、しかもカナダ英語の特徵もあるよう分らない所もあり

自信もありませんが、社会構成の根本を契約思想におき行政機構も公的サービスとそのまとめ後の「部分社会」の平均的「分野にすぎず、市民社会は夫々の「部分社会」から成る集合である」とみる欧米社会の考え方をよみとっていただければ幸で、彼れの行政に対する相違も若干分ると思う。

日本の社会の「からみつくような網の目」と異り、ポランティア精神や、民間の善意や自由尊重の空気がにじみ出ているように思われます。

十一月十二日から十七日まで、名古屋の三越百貨店本店で「愛知の山村展」が開催され、期間中色々な催しがあり、大勢の人でにぎわいました。

この山村展の催しの一つとして「郷土―わたしの町・わたしの村」ポスター展が行われ、東栄町からも多数の応募があり、この中から特選に四点、入選に十一、佳作に十五点が選ばれました。

晴れて特選となったのは次のみなさんです。(敬称略)

古戸小四年 伊藤 修  
古戸小四年 佐々木恵美  
粟代小五年 小野田由紀  
粟代小六年 一野瀬貴子

作品は山村展会場附近の階段に掲示され、関心を集めました。

「あいちの山村展」で

「ポスター展に四人特選

「あいちの山村展」で



# とうえい

## 全国議長会海外 地方行政報告(一)



議長  
安藤 孝

昭和五十七年八月三十一日から九月十四日の十六日間、欧州・ソビエト方面の行政視察に参加することができましたので、その概要を報告します。

△訪問国▽ソビエト、フランス、西ドイツ、イギリス等七ヶ国。

△調整テーマ▽

「ソビエト連邦」(モスクワ)

世界の社会態勢は大きく二つに分かれている。そのひとつ、共産圏の代表ソビエトの社会体制が具体的に市民生活にどのように現れているか、社会体制の違い、労働体系の実情調査を目的とする。

△感想▽

まず自由がない。経済力が貧弱で経済の豊さがなく、首都モスクワでさえ主要道路以外は未舗装道路が目につき、市民に親しみ笑みがなく、寒々とした街という印象が強く、空港、ホテル、食堂等省エネを徹底しているせいか非常に暗い都市である。

作業が極端な立割のためか作業能率が高く自己中心、自己安全(自分を守る)主義を各自が持っているようである。オリンピックを開催した経験もあり、世界の大国としてのイメージより程遠く、都市の美化、環境、住宅等の立ち遅れ、商業活動の低下は意外でありました。

観光ルートもロシア帝国時代の建物を誇らしげに観光資源とし、新しく共産主義国家に生れ変わった成長した成果、たとえば、近代的工場とか教育施設、産業施設、国家発展の足跡の公開を期待してまいりましたが公開されず、誠に残念でありました。あの大国の国力を低下させている原因は、作業量、作業時間の規制と社会体系の違いが低下を招いていると思います。また、外国の共産諸国に対する軍事力の援助のために国内の財政が苦しく、市民生活の向上に大きな支障となっているのではないかと

察せられた。

「チェコスロバキア」(プラハ)

社会主義国家圏の確たる一員ではあるが、東欧諸国の中で最も西欧に近く、工業、商業、文化面でもリーダースhipをとっている。歴史的にも遺跡も多く、中世その他の風景を残す。唯一の都市である。

ソビエトと違い商業活動も活発で自由主義国家と変わらない意欲とサービスを持ち、個々の市民がある程度の自由を楽しんでいる。東欧の食糧庫、特にソビエトの食糧の確保を分担しているように見られる。生活物資の不足、外貨の不足は深刻のようであり、ヤミドルや私達の所持品をしきりに欲しがり、分けて欲しいと話かけてくる。外貨不足を補うために観光事業には力を入れ、外国人旅行者に対しては温かな接し方をしている。宗教の栄えた国であり、歴史を重んじ、ダイヤ加工、毛皮製品の生産等も盛んに行われている。

ここに滞在中、やはり社会主義国に在るといふ実感を受けた時もあったが、この国がなぜ自由主義国家の一員とならないかが不思議に思うことがあった。

「オランダ王国」(アムステルダム)

世界は神により作られたが、オランダはオランダ人により作られた。と誇るように、オランダ人は水との絶えない戦いのうちに国土を築き上げてきたことよって、

強固な意志を培っている。自由主義国の一員であり、長崎のオランダ坂、蘭学に代表されるように日本との結びつきは深い。

ここは第一回目の訪問国であり、フリーランド州ワッデン市を公式訪問、議会制度、住宅政策、農業事情について視察を行なった。同市庁舎到着後、長老議員による歓迎レセプションが行われ、その後、市の概要説明、議会制度、教育問題について質疑応答後、スライドで説明を受けた。

風車において代表されるオランダは略農業が主であるというイメージが強かったが、実際には商業や鉱工業も発達しており、また社会保障制度も充実し、平和で安定した社会が作られている。

また水面下五層に新飛行場を作る技術力、街の整備・美化も高水



九月三日、オランダ・ワッデン市で一般行政の説明を受ける

準にあり、さらに、母国語と外国語(英語)の二ヶ国語を国民が話すのには驚かされた。

「ドイツ連邦共和国」(西ドイツ)

西ドイツの戦後の復興の奇蹟はいうに及ばないが、七十三年の石油危機以降の経済面で第二の奇蹟をなしたとげたとわれている。各国がインフレの苦境にあるとき、西ドイツはなぜ強いのかを探る。

この国はかつての同盟国という親しみがあがり、工業国のイメージのびたりする合理性に富み、国力の強大さをひしひしと感じる。国の状態も安定していることが、街を歩いただけでも感じられた。

### ご協力をお願いします。

### 「昭和57年 工業に関する調査」

12月31日現在で行うもので、全国一斉に行われます。みなさんのご協力をお願いします。



とうえい

# 優勝に見事に発表体験

## 健康づくり会議で月の金田さん 「三健会」の歩みと活動を紹介



堂々と発表する金田さん

去る十月二十九日、花祭会館では、愛知県公衆衛生協会東三河地方部会の研究会と総会、そして健康づくり県民会議が行われました。この日会場となった花祭会館には、東三河地区の市町村の職員や保健所職員、健康づくりグループ

の代表者ら約百名が朝早くから詰めかけました。午前十時から公衆衛生協会東三河地方部会総会が始まり、これに続いて同研究会が行われ、この席上、東栄町文化財保護委員の佐々木亀鶴氏が登壇し、「東栄町の花祭について」の講演があり、満場の拍手を浴びました。

昼食後の健康づくり県民会議では、健康についての体験発表が行われました。発表者は、東栄町の金田法子さんを含めた五人。それぞれ地元で健康づくりのリーダーシップをとってきた人たちがばかり、発表内容も充実しており、場内から大きな拍手が送られました。この体験発表で東栄代表の金田さんは、月地区の健康づくりグループ「三健会」のあゆみとその活動内容などについて発表をし、その

# 電波は正しく有効に

## 「ハイパワー市民ラジオ撲滅旬間」12/1〜12/10

近年「市民ラジオ」と呼ばれる無線機が多く、市民に利用され、またアマチュア無線愛好者が増加しています。

ところが、これらの中には違法とされている高出力の無線機や、許可にならない周波数のものを使用する者があり、このためテレビやラジオ、その他の無線通信に大きな妨げとなり、各地で社会問題となつていきます。

これらの不法無線局をなくすため郵政省電波監理局では十二月一日から十日間を「ハイパワー市民ラジオ撲滅旬間」と定めて、次のような呼びかけを行っています。

- ◎「ハイパワー市民ラジオ」の機器を使用している人は直ちにその使用をやめて下さい。
- ◎市民ラジオを使用する人は、型式検定合格マークのついた機器を使用して下さい。

◎型式検定合格マークのついていない「ハイパワー市民ラジオ」は免許が受けられません。使用するに罰せられますから購入しないで下さい。

◎アマチュア無線を楽しむ人は、アマチュア無線技師の資格を取り、アマチュア局の免許を受けてから使用して下さい。

◎電波法に違反して、免許がないのに無線局を運用すると一年以下の懲役、または二十万円以下の罰金に処せられます。また電波法の一部が改正され、昭和五十八年一月一日から免許がないと無線局を開設しただけでも処罰の対象とな

結果見事に一位に輝き、十二月三日の県大会に東三地区代表として選出されました。

り、一年以下の懲役、または二十万円以下の罰金に処せられます。◎他人の無線通信を傍受して漏らし、またはこれを窃用すると罰せられます。

### 人権週間始まる

#### 十二月四日〜十日

十二月四日から十日までの一週間は人権週間です。この人権週間は昭和二十三年十二月十日の第三回国連総会において世界人権宣言が採択されたのを記念して定められたもので、広く国民に基本的人権の思想普及と人権意識の高揚を呼びかけるものです。

- 今年の人権週間の強調事項は、
- 一、人権の共存
  - 一 お互に相手の立場を考えて豊かな人間関係をつくらう
  - 二、部落差別をなくそう
  - 三、婦人の地位を高めよう
  - 四、障害者の完全参加と平等を実現しよう。

また、人権に関する諸問題や、日常生活で悩み事のある方は、人権擁護委員（東栄町では、白川一市、三高宏、奥田哲夫、原田ウタの四氏が就任）か、最寄りの法務局にお気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は厳守されます。

次の県大会での活躍が期待されます。

詳しくは役場住民課までお問い合わせ下さい。

### 竹ぼうきと雑布の贈物 地元の学校などへ 本郷老人クラブの活動

「竹ぼうきと雑布」が、本郷地区老人クラブ（代表、加藤功氏）から、本郷保育園と中央小学校、そして東栄中学校に寄贈されました。

これは、本郷地区内の四つの老人クラブがクラブ活動の一環として、一年おきごとに贈ることに決め、今回が四回目。

その数は、竹ぼうき百二十本、雑布三百五十枚という沢山なもので、仕事や家事の合い間をみて、丹精こめて作り上げたものです。

町では、この善意のこもった贈物に感謝するとともに、住民課を通じて、老人クラブの意に沿うよう、本郷保育園と中央小学校、そして東栄中学校にそれぞれ配布しました。

**歳末助け合い  
運動にご協力を**



# ただよう熱気、文化の結集!!

## 文化祭 大盛況のうちに幕

### 芸能まつりも大人気、会場は超満員

昭和五十七年度東栄町文化祭が十一月三日の文化の日、本郷大森の総合文化センター内で開催されました。メイン会場の花祭り会館を中心に様々な催しが行われ、終日にぎわいを見せました。この文化祭のもようをご紹介します。



▲大盛況の花祭り会館前

式辞をのべる▶  
原田町長

今年の文化祭は、林間学校宿舎棟建設工事のため、やむをえずの縮小開催、人出が心配されましたが、主催者側のそんな心配をよそに出足は好調、すぐに超満員の大盛況となりました。

この日は、まず午前九時から開会式が行われ、町長の式辞に続いてテーマ作文入選作品の発表が行われました。小・中学校から四人が入選として選ばれ、それぞれ発表を行いました。その内容の立派なことさながら、堂々とした発表態度は実に頼もしく、場内から惜しみない拍手が送られました。今回入選となったのは次のみなさんです。(敬称略)

伊藤道代 粟代小六年  
佐々木好成 古戸小六年  
小学校

伊藤恵正 中央小四年  
本多知恵子 東栄中二年

このテーマ作文は、以後四回に分けて同紙上に紹介します。

この開会式終了後、いよいよ呼び物の「ふるさとの芸能まつり」の開演、司会役の伊藤喜治さんと梅田朝子さんに導かれ、まつりはスムーズに進行。客席とステージが一体となつての演出はこの芸能まつりならではのものです。何ともいえない味わいがありました。この芸能まつりの観客動員数は五百人以上にも及び、また、出演者はのべ二百人となっております。この芸能まつり、開演から延々十時間近くも続き、午後八時ごろその幕を閉じました。

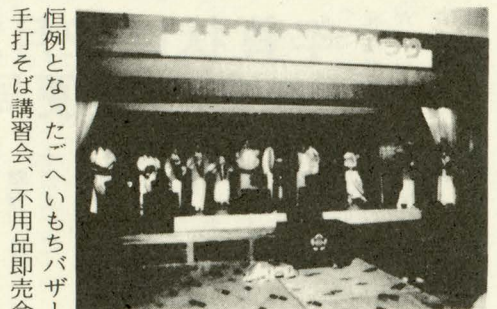
一方、この花祭り会館の外では

## 「東栄病院のあゆみ」を編さん 広く資料の提供を呼びかけ

東栄町国民健康保険東栄病院が地域のみなさんの健康をお預かりして早や二十年の歳月が流れています。これまで地域医療の確立と住民の健康管理に院長以下一丸となつて診療活動を進めてきました。

この度、この二十年の東栄病院の過去を振り返り、またこれからの活動を一層充実させるため、「東栄病院のあゆみ」を編さんすることになりました。

東栄病院内に「編さん準備委員会」を設けて資料を収集し、来年度をめどに準備を進めます。



ふるさとの芸能まつりから

恒例となつたごへいもちバザー、手打そば講習会、不用品即売会、や、米飯試食会、緑化木配布会などでは、いずれも大盛況で、用意した品物がアツという間に売り切れるというほどでした。

このほか、テニス大会や百射会(弓道)などのスポーツや将棋の会も行われました。

今回の文化祭は縮小開催ということで、期間も会場も不十分な点がありました。みなさんの熱意とご協力で立派な文化祭となりました。みなさんのご協力に感謝するとともに、来年の文化祭もより素晴らしいものにできるようにお力添えをいただきたいと念願します。

そこで、東栄病院生たちのころからの諸事業の記録や写真、その他の資料を広く収集していますので、どんな物でも結構ですから心当りのものがございましたら、東栄病院事務長までご連絡下さい。(東栄病院)

**交通事故のご相談は  
お気軽にどうぞ  
無料でご相談に  
応じております**

午前九時半～午後四時半 平日  
土曜日は正午まで  
◎専門の相談員が親身になって  
ご相談に応じます。  
◎弁護士相談日：毎週水曜日  
午後一時～四時

社団法人日本損害保険協会  
名古屋自動車保険  
請求相談センター

名古屋市中村区名駅南二丁目  
住友生命名古屋ビル十四階  
名古屋調査事務所内  
☎(番)五八三一九七五(直通)  
(号)五三三三五



とうえい

57年度「文化祭」テーマ作文

伝説調べをして

☆入 選☆ 小学校の部



古戸小 六年

佐々木 好成

「昔なあ。古戸におにが住んどつてなあ。布川の方から歩いてきたそのおにがな。下古戸のへんの木の根かなんかにつまづいてなあ。よろけて、たかばしのもう少し上の川原へ片足をついてな。それから、右手だったか、左手だったかよく知らんが川合のもう少し向こうの山になあ、手をついたそう。今もその手あとと足あと(注一)が残っとるらしいだ。」

もうすぐ夏休みという日(今年の夏休みには、どんな自由勉強をしようかなあ)と一しようけんめい考えてみました。(どうせやるなら、すごいことをやってやろう)と考えているうちに、古戸の伝説を調べて一冊の本にしようということをおいづきました。でき上った本を見て、古戸にもこんな伝説があったのかとおどろいているみんなの顔が目にかぶようでした。

古戸にはどんな伝説があるのか聞いてみました。「ごんげんさま」「七人づか」「エンキの立目」など、いくつか話してくれましたが、ぼくの知らない話ばかりでした。これをみんなに知らせたらすごいだろうなあと思いました。しばらくして、おじいさんが「これ以上は忘れたなあ。うつかげつのおじいさんなら、もっとよく知ってるぞ」と言うので、うつかげつへ聞きに行きました。

そのおじいさんは、あがりはないにこしをかけて、一つずつ思い出すように話してくれました。おにの手あとと足あとの伝説のほかにも、さかさ竹、てんぐ、じゃぶちなど予想以上にたくさん話があるのびつくりしました。家に帰ると中々おじいさんたちでさえ思い出すように話しているのだから、ぼくたちが知らないのはあたりまえだなあ;と思いました。

もの知りで子どものころの話をよく覚えている大正生まれのぼくのおじいさんでさえ、昔から伝えられてきた伝説の中にも忘れていくものがあるかあるというのです。これでは、この先、ぼくが大人になり、おじいさんになるときは、きっと伝説というものはなくなっているのではないのでしょうか。昔からずっと伝えられてきた大切な伝説をこのままなくならせたいはいけません。

ろやかに展示したぼくの本(注三)をみんなおどろきながら読んでくれました。きっとみんなは自分の

ちの子どもに伝説を話してくれるだろうと思います。字もへただし、絵もへただったけれど、こうして一冊の本にして、いつまでも残しておけば、きっといつまでも伝説がなくなることはないだろうと思います。

資料

注一、手あとと足あと...たかばしの上の川原の大きな石に、足あとらしい形が残っている。つまさきをつき、かかとを少しついたようなへこみが見えた。しかし、手あと

は、ぼくにはよくわからなかった。注二、うつかげつ...うつかげつのおじいさんによるとうつかげつというの、昔、おとこのさまがこの辺りを通りかかったとき、前へうづらがとび出したので、おとこのさまがうづらがいつという名まえをつけたということです。そのうづらがいつが、うつかげつというように変わった。(四年生のときの屋号調べでわかった)

注三、ぼくの本...夏休みにつくった古戸伝説集のこと。

年賀状は12月20日までに 年末の郵便局は大混雑

例年十二月になると、年賀状や小包みなど大量の郵便物を取り扱うため、郵便局は大変忙しくなります。郵便を利用されるときは、特に次の点についてご協力をお願いいたします。

年賀状は十二月二十日までに 十一月五日から全国一斉にお年玉つき年賀はがきが発売されましたが、今年も十二月十五日から年賀状の受付が始まります。

Table with 2 columns: Date (十二月二十九日, 十二月二十九日) and Location (本郷 平林医院, 振草 白川医院)

十二月の 休日在宅当番医

郵便局では大量の年賀状を処理できるように全力を尽くしていますが、先方の住所が不明であったり、郵便番号が間違っていたりした場合、配達が遅れたり、配達できなかつたりする場合があります。住所・郵便番号はしっかり確認してお書き下さい。



# スポーツの秋総決算 各種スポーツ大会の結果を紹介

十二月に入り、寒さもだんだん厳しさを増してきました。この秋も盛り上がるスポーツ熱を反映して各種スポーツ大会が催されました。これまで広報紙で紹介したものは除き、主なものを紹介します。

## 〈ソフトボール〉

予選リーグから熱戦が続いていた後期町長杯ソフトボール大会は十月下旬から決勝トーナメントが行われ、一般の部、混成の部とも順位が決まりました。結果は次のとおりです。

優勝 ◎一般の部 中設楽クラブ

- 準優勝 栗代バイバーズ
  - 三位 ニタ田クラブ
  - ◎混成の部 三輪トーターズ
  - 優勝 三輪トーターズ
  - 準優勝 森山ザカーズ
  - 三位 三輪球友クラブ
- (中設楽クラブ、三輪トーターズとも初優勝)

## 〈軟式野球〉

町軟式野球地区別大会は、絶好の野球日和りに恵まれた十月三十一日、町野球場で行われました。各地区とも精鋭をそろえ、白熱した好ゲームが続きました。結果は次のとおりです。

- 優勝 振草
  - 準優勝 御殿
  - 三位 三輪
- また少年野球では、北設大会で東栄クラブが抜群の強さをみせ他を圧倒。二年連続して北設一に輝きました。

## 〈バレーボール〉

町バレーボール大会は、十一月七日東中体育館に十チームを集めて行われ、結果は次のとおりです。

- 優勝 レディース
- 準優勝 中学校(二年生)
- 三位 すみれ

## 〈軟式テニス〉

町民軟式テニス大会は、十一月三日の文化の日、町テニスコートで行われました。結果は次のとおりです。

## 母と子の健診と相談

### 母親教室

- ◎日程 12月16日(木)  
テーマ…妊娠の生理と注意、お産の準備、安産教室
- 1月5日(水)  
テーマ…妊娠中の栄養、赤ちゃんの保育、産後の生活、家族計画
- ◎時間 受付 13:30~14:00  
講義 14:00~16:30
- ◎場所 東栄病院研修室
- ◎対象 町内全妊婦
- ◎持参するもの 母子手帳
- ◎費用 無料

### 妊婦健診

- ◎日時 12月22日(水) 14:00~15:00
- ◎場所 東栄病院産婦人科外来
- ◎対象 町内全妊婦
- ◎持参するもの 母子手帳
- ◎費用 無料

### 乳児母親健診

- ◎日時 12月23日(木) 13:00~15:00
- ◎場所 産業会館保健室
- ◎対象 昭和56年12月、昭和57年2、4、6、8、10月中に生まれたお子さんと1歳児をお持ちの母親
- ◎持参するもの 母子手帳
- ◎費用 無料

## 戸籍の窓口

### 〈十月受付分〉

- |      |            |       |                                |    |     |    |
|------|------------|-------|--------------------------------|----|-----|----|
| 青年の部 | 田中康博・上手理文組 | 壮年の部  | 伊藤欣司・山口昌一組                     |    |     |    |
| 一般の部 | 原田博一・中野充治組 |       | (なお、二位・三位は紙面の都合上割愛させていただきました。) |    |     |    |
| 氏名   | 保護者        | 住所    | 氏名                             | 年齢 | 世帯主 | 住所 |
| よろこび |            | 龜山いま  | 88                             | 正夫 | 下田  |    |
|      |            | 伊藤あさ江 | 79                             | 興志 | 振草  |    |
|      |            | 原田悠介  | 百之                             | 振草 |     |    |
|      |            | 荒川直美  | 和男                             | 足込 |     |    |
|      |            | かなしみ  |                                |    |     |    |

## ふるさと歌壇 互選首

### 〈十月詠草歌〉 第二四七回

鳳仙花咲く秋風におのづからその実ははじけて地面にこぼるる 大野 むつみ

鶏頭のピンク愛しき昼下り孫の便りを繰返し読む 関本 三江子

芒の穂に白々として風あれば稔りの秋といえども佗し 原田 れい

穂芒が日和に光る溪間の小豆摘まんと山畑登る 鈴川 三重

言葉にもならぬ言葉をこぼしつつ実のり少なき稲を刈り初む 後藤 八重子

うす紅の合歡のぼかしの花咲きて比の花好みし人を恋はしむ 西林 ももゑ

木犀の香りただよふ陽だまりに猫は手足を伸ばして眠る 梅田 トシ

落鮎の終りて築場ひえびえと山風静に秋深みゆく 岩倉 源三郎

白き杖をつきて歩める母に添う暮参の道は秋雨にけぶりて 福田 幸代

行く秋をおしむがに生命ある限り夜更くる庭の虫きそいなく 内藤 すへ